

—「廃墟」ではありません

明治大学平和教育登戸研究所資料館 第3回企画展

キャンパスに残っていた偽札印刷工場 — 5号棟調査報告 —

2012年11月21日（水）～2013年3月2日（土）

〔2012年12月23日（日）～2013年1月8日（火）は休館〕

開館時間：午前10時～午後4時 休館日：日曜日～火曜日（団体見学事前予約の場合は日曜開館あり）

入館料：無料 主催：明治大学平和教育登戸研究所資料館

アクセス：小田急線生田駅南口より徒歩15分（途中70mほど急坂あり）

小田急線向ヶ丘遊園駅北口 小田急バス「明大正門前」行終点下車
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス

TEL&TAX 044-934-7993 E-mail noborito@mics.meiji.ac.jp

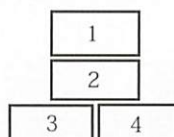
明治大学平和教育登戸研究所資料館

キャンパスに残っていた 偽札印刷工場 — 5号棟調査報告 —

5号棟は、陸軍登戸研究所の偽造紙幣(中国蒋介石政権の紙幣)を製造していた第三科に属する建物でした。1939年前後に建設されたものと推定され、建物そのものの老朽化とキャンパス整備計画推進のために2011年2月下旬から3月上旬にかけて解体されました。

5号棟は、長年にわたって実験室・倉庫として使用されていたため、内部の各部屋には実験器具や種々雑多な物品が詰め込まれており、室内の調査すら満足にできない状態でした。しかし、解体にともなう整理と調査の結果、従来から「倉庫または印刷工場」とされていましたが偽札の印刷工場であった可能性が強まりました。

今回の企画展では、解体時の調査報告・明治大学で発見された図面や映像・写真から5号棟が戦前どのような役目を担っていたのかを探っていきます。



1. 5号棟正面(撮影:小池汪)
2. 5号棟内部(撮影:小池汪)
3. 2011年2月20日に開催された5号棟公開見学会の様子(撮影:登戸研究所資料館)
4. 5号棟内部 印刷室と推定される部屋と職員の部屋(撮影:小池汪)
- 表面. 5号棟内部(撮影:登戸研究所資料館)

関連イベント

●当時の「法幣(紙幣)」を観察してみよう!

虫めがねで当時の中国の「法幣(紙幣)」にどんな技術が使われていたのか観察してみよう!



(表)

●現物資料展示

下記期間中、普段はレプリカでしか見られない、登戸研究所で製造した偽札(6連偽札 中国交通銀行10元券)のオリジナルを展示します。



(裏)

「1936年発行
中央銀行 5元券」
(大島康弘氏寄贈)

11月21日(水)~12月22日(土)
2013年2月20日(水)~3月2日(土)
展示場所: 第四展示室

●山田朗館長による展示解説

企画展の展示解説を行います。

11月23日(金)~25日(日), 2013年2月23日(土)
各日13時~, 定員(先着)20名

●紙すきと凸版印刷を体験してみよう!

紙すきと凸版印刷と一緒に体験できるワークショップです。自分で書いたカードに自由に版を組んで印刷し、オリジナルデザインのカードを作ることができます。

11月23日(金)~25日(日)
1回目 10時半~ 2回目 12時半~
3回目 14時半~
定員: 各回4名 所要時間: 60分
参加方法: 当日、整理券を資料館で配布いたします。(参加者多数の場合、ご参加いただけない場合がございます。)
*インクで汚れる可能性があります。

明治大学平和教育登戸研究所資料館

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス
TEL&FAX 044-934-7993 noborito@mics.meiji.ac.jp
アクセス: 小田急線生田駅南口より徒歩15分(途中70mほどの急坂あり)
小田急線向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明治大学正門前」行終点下車

